

LIBRARY 通信

第2号
沖縄カトリック中学高等学校
図書室発行
2022年5月27日

長雨が続き、青空が待ち遠しい今日この頃ですね。でも雨が降らないとダムに水が貯まらず、水不足となるのでここは『恵みの雨に感謝!』というところなのでしょう。と、いうことでこの時期、雨の音をBGMに本を読むのはいかがでしょうか?

お薦めの本の紹介



『浜村渚の計算ノート』

柳碧人 / 作
講談社文庫

「数学の地位向上のため国民全員を人質とする。」天才数学者・高木源一郎が始めたテロ活動。彼の作った有名教育ソフトで学んだ日本人は予備催眠を受けており、命令次第で殺人の加害者にも被害者にもなりうるのです。テロに対抗し警視庁が探し出したのは一人の女子中学生でした! 新時代数学ミステリー!!

この本は作者青柳碧人のデビュー作です。既存の「数学が事件を解決する」という類の作品を読んでいて「難しいなあ」と思った作者は、本当の意味での初心者向けであり、かつ数学への愛に満ち溢れており、できれば読んでいながら数学の知識が身につく(あるいは、そんな気になる)作品が読みたくて、この際自分で書いてニヤリと笑ってしまおうというきっかけで書いた「自分向けの小説」であつたらしい。と、聞くと読んでみたくなる! 数学を苦手と思っているあなたも、もしかすると読み終えるころには、数学が好きになるかも.....。

ぜひ読んでみてください。



『外資系社長が出会った不思議すぎる日本語』

レノボ・ジャパン代表取締役社長 デビット・ベネット / 作
KADOKAWA

朝会社に行くと突然、見知らぬカナダ人に「今日から私があなただのボスです」とあいさつされたら、あなたならどうしますか? で始まるこの本は、現在外資系IT企業で世界最大のパソコンメーカーとしても知られるレノボ・ジャパン合同会社で代表取締役のデビット・ベネットが作者です。

「そんなIT企業の外国人がなんで日本語の本を?」と思った人、外国の

日本語学習者がこだわる日本語についての疑問や、その疑問をきっかけとする愉快的な日本語トレピアに出合えます。

グローバルな世界の多様性の一部を体験できると思います。

『ストップ! SNSトラブル』

小寺信良 / 作
メディア・ビュー編
汐文社



人と会って話をするということは、単にお互いが知っている情報を交換するだけでなく、話をするだけで心が安らぎ、気持ちが安定するという効果をもたらします。そして、より多くの人とつながりたい、新しい友達を作りたいという願いをかなえるために、インターネット上で広く交流できるSNS

が登場しました。このシリーズでは、SNSとはどんなものか、どんなメリットがあり、どんなデメリットがあるのかを学べます。

私も読んで
みました!

『あの花の咲く丘で、君とまた出会えたら。』

汐見夏衛 / 作
スターツ出版



本を読むことは嫌いではないのだけれども、興味がわかないと本を手にとらない私。読まないときは月に1冊かな?の言葉に、その場にいた図書委員3名が、声こそ出さずして『え~!?』の表情。そりゃそうですよね。そこで1年女子の図書委員さんが推し!の本があると薦めてくれたのが、この本です。プロローグを読んで、なんと渋い本を...と思っていたと、さらにその本に出合ったのは小学校6年生の時というから、またまた驚き。ぜひ!ということでしたので早速借りて読んでみました。

親や学校、すべてにイライラした毎日を送る中2の女の子が、母親とケンカして家を飛び出した後、70年前の戦時中の日本にタイムスリップ。そこで、彼女は何を見、何を思うのか。そして元の時代に無事戻ることができるのか。

6月は平和月。慰霊の日の前に一読を!!

4月の各クラスの貸し出し冊数

